

会 議 記 録

次の審議会（協議会）を下記のとおり開催したので報告します。

審議会等名称	令和7年度 第4回近江八幡市総合教育会議		
開催日時	令和8年2月3日（火）13時00分～13時45分		
開催場所	近江八幡市役所 3階 市長応接室（近江八幡市桜宮町236）		
出席者 ※会長等◎ 副会長等○	<p>出席者(敬称略)</p> <p>市 長 小西 理 (◎)</p> <p>教育長 安田 全男</p> <p>教育長職務代理者 重森 恵津子</p> <p>教育委員会委員 西田 佳成、大更 秀尚</p> <p>欠席者</p> <p>教育委員会委員 圓山 淳子</p> <p>事務局</p> <p>総合政策部企画課</p> <p>教育委員会事務局教育総務課</p> <p>関係所属</p> <p>教育委員会事務局学校教育課、生涯学習課</p> <p>傍聴者 なし</p>		
次回開催予定日	未 定		
問い合わせ先	<p>所属名、担当者名 総合政策部企画課 東 有希、中川 郁、野田 卓治</p> <p>電話番号 0748-36-5527</p> <p>メールアドレス 010202@city.omihachiman.lg.jp</p>		
会議記録	発言記録・ 要約	要約 した 理由	内容を整理して、分かりやすく記録として残すため
内容	別紙のとおり		

担当課⇒総務課

- | | |
|-----|--|
| 事務局 | 1. 開 会
省 略 |
| 市長 | 2. 挨 拶
省 略 |
| 事務局 | 3. (議題) 第3期教育大綱の策定に係るパブリックコメントの結果及び対応について <ul style="list-style-type: none">• 教育大綱の策定に向けてパブリックコメントを実施し、期間としては、令和7年11月5日から令和7年12月10日までの約1か月間である。• パブリックコメントの結果、5名の市民から34の意見を提出いただいた。• パブリックコメントの結果と市の回答については、今回の総合教育会議を受けて、改めて整理した上で、市ホームページ及び情報公開コーナーに公表する予定である。• 教育大綱のイメージ図について、パブリックコメントでは、大人側の「育てほしい姿」がベースとなっていることが疑問であるとの意見があった。このことから、「発達段階に応じた学びや成長」といったイメージ図に変更した。• また、従来のイメージ図は、学びの場が学校に限定されていることから、学校だけでなく地域や市民など様々な主体が連携・協働して「生き抜く力」と「創造力」を育み、生涯にわたる学びと成長を通じて、地域の未来を共に築くことを理念として位置づけた。• 教育大綱の3つの柱のうち「親が育つ」について、従来の説明では、ひとり親世帯や里親など多様な家庭環境に配慮できていない指摘があったことから、親だけでなく「身近な大人」がこどもの育ちを支え、共に成長するよう内容を修正した。• 教育大綱の全体について、生涯学習の記載が乏しいとの意見があったが、イメージ図においても「生涯にわたる学びと成長」を柱として位置づけており、20の施策においても「好奇心・探究心を刺激し、主体的な学びを促す情報や機会の提供」を新たに位置づけたことから、教育大綱において生涯学習は重要な分野であると認識している。 |
| 市長 | <ul style="list-style-type: none">• 事務局から説明があったパブリックコメントの結果と教育大綱への反映について、順にご意見をいただきたい。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none">• パブリックコメントでは、かなり内容に踏み込んだ意見を提出いただいたので良かったと思う。• 教育大綱のイメージ図について、抽象的な内容で良いという意見と詳細かつ具体的な内容を記載した方が良いといった両視点からの意見があったが、事務局の修正案は、分かりやすく簡潔になったので非常に良いと思う。 |

- イメージ図では、自分らしく輝き地域の未来を共に築くといった理念のもと、生涯にわたる学びと成長が非常に重要であるといったメッセージが明確に伝わって良いと思う。
 - 学齢期のこどもの学びは教育大綱のポイントになるが、幼児期から高齢の方まで、学びたいという意欲を出してもらうためには、社会教育や生涯学習の取組は非常に重要であり、少子高齢化社会であるからこそ、なおさら必要だと思う。
- 委員
- パブリックコメントのおかげもあり、教育大綱のイメージ図が分かりやすくすっきりとした。
 - 意見を取り入れる部分と取り入れない部分とを、きちんと整理してまとめていただいたので非常に分かりやすい。
- 委員
- パブリックコメントは、反対の意見ばかりでなく、建設的な意見が沢山挙げられていたので、大変有難いと思う。
 - ただし、パブリックコメントの項目1にあるとおり、教育大綱の継承と見直し部分を明示して、総合教育会議での改訂の経過などを冒頭の「はじめに」で説明するべきとの意見に対して、回答が不十分ではないかと感じる。
 - 教育大綱の「はじめに」は、教育大綱の顔になる部分なので、パブリックコメントの回答として十分なのか疑問に感じる。
- 教育長
- 教育大綱が令和7年度に策定されることを受けて、教育委員会では、令和8年度に教育振興基本計画を改訂する。
 - 教育大綱のイメージ図において、「生涯を通じた学び」の要素を反映いただいたので、教育振興基本計画においても、生涯学習の視点をしっかり取り入れていきたいと思う。
- 市長
- 教育大綱の全体については、概ね了承をいただいたと思うが、委員から意見のあった教育大綱の「はじめに」について、事務局から何か考えや補足があれば説明いただきたい。
- 事務局
- 教育大綱の「はじめに」は、パブリックコメントの際に出していない部分である。
 - 本市は、まちづくり協議会が学区単位で設置されるなど特色ある取組が進んできたが、近年、地域の担い手不足や自治会含めコミュニティの希薄化が進んでいることから、まちを救っていくのは、何より「人」であり、人づくりには教育が欠かせないということを強調した。
 - ただし、パブリックコメントの意見については、触れられていない。
- 市長
- 物事は基本的に変化することが前提である。
 - 第2期教育大綱から、継承するものがあるとするとそれは一体何であるのか。根幹を明確にすることが必要である。
 - 私としては、「ふるさと学習」、「躍動する元気なまち」が理念として継承されるものと認識している。
- 委員
- 教育大綱の内容を変えるというより、パブリックコメントに対する回答

市長

が曖昧であるので、もう少し丁寧に回答いただけると有難い。

- 教育大綱の「はじめに」とパブリックコメントは別物なので、パブリックコメントの回答ではない。回答については、基本理念やイメージ図の説明を加えるなど丁寧に記載いただけると良い。
- その他、細かな文言修正等は事務局に一任したいと考える。本日をもって、第3期教育大綱の最終案を確定し、再度、内容を確認いただいた上で策定としたい。

事務局

4. 事務連絡

- 令和7年度の総合教育会議は、第4回会議をもって終了とする。
- 第3期教育大綱は、市長の決裁をもって令和8年3月末に策定できるよう進めていきたい。

事務局

5. 閉会

省略

終了時刻：13時45分